

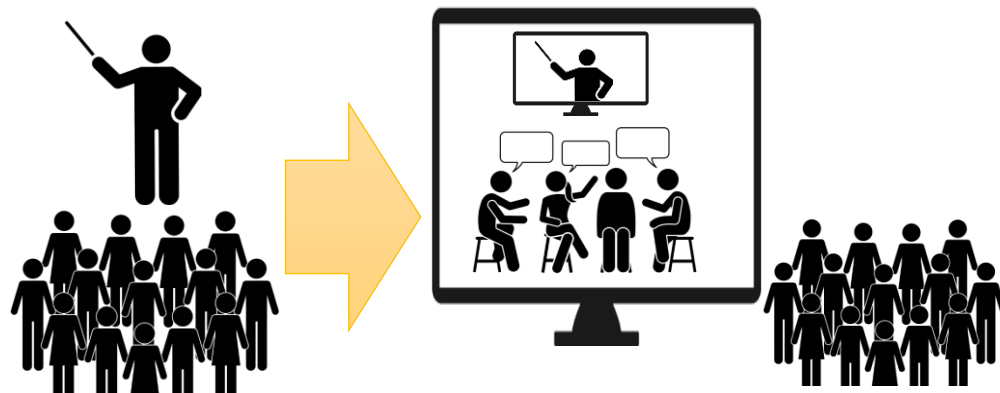
リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

【取組内容】 外部人材によるオンライン授業 新しい情報モラル教育

②情報活用能力の育成 ③A 動画教材の活用、地域人材や外部専門家の参画を得たオンライン授業

これまでの情報モラル授業

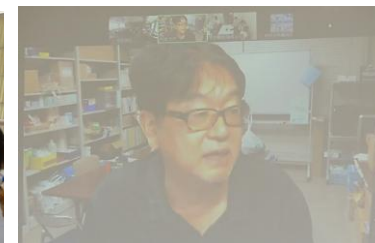


【一斉授業に近い】

自分事としてとらえることができず、
情報モラルの意識向上を感じられなかった。

【カタリバ風番組仕立て】

クラスでリーダー的な存在になる生徒をピック
アップして外部講師との対話形式で討論を交わす。



今まで、他人事としてしか
感じることでできなかった授
業を、クラスメイトが出演し
ている討論会を見て学ぶこと
で、自分事としてとらえられ
るように工夫する。

●成果



スマホサミットin沖縄2024に
積極的に参加



②スマホについて

使用時間に関しては現行校則のままで問題ないただしスマホ
の保管について、お昼時間以外にスマホを保管しておく場所
(箱など)を各HR教室に用意してほしい。

根拠：

現行校則ではスマホはロッカーにしまうことになって いる
が、移動教室も多いためそれでは生徒個人で自己管理するに
は限界がある。手元で管理するにしても、手元にあると使っ
てしまう可能性が高い。

校則改正員会にて生徒自らスマホ利
用を考えるようになった。

他人事から自分事
自分事から自律
自律から発信へ

情報活用する上で、最も必要な
情報と向き合う上での責任を学
ぶことができた。